

校長室だより

No.12 R8.8.1

「小さな国」の大きな夢から学ぶこと ～最高の夏休みにするために～

8月を迎えました。子供たちが楽しみにしていた夏休みですが、あっという間に約2週間が過ぎ、残すところ1ヶ月となりました。

さて、「カーボベルデ」という国を御存知でしょうか？ 恥ずかしながら私はつい最近まで知りませんでした。アフリカの西の海に浮かぶ、人口約60万人のとても小さな島国で、世界的にはあまり知られていない国でした。しかし、そのカーボベルデのサッカー代表チームが、世界の強豪が集まるサッカーワールドカップ（W杯）に出場し、世界中を驚かせる大活躍をしたのです。

惜しくも延長戦の末にアルゼンチンに敗れてしまった試合の後、カーボベルデのロペス選手は、胸を張ってこう語りました。

「今日は延長で負けましたが、世界に私たちの力を示すことができました。ワールドカップ出場を夢見て叶えることができました。小さな国でも大きな夢を抱いて、一生懸命に努力して信じて、ここまで来られると証明できました。今では、世界の人々がカーボベルデの場所がどこにあるかわかるでしょう。」

彼らは「どうせ無理だ」とあきらめず、自分たちの可能性を信じて努力を続け、ワールドカップに出場し、世界中にその存在を知らしめたのです。

夢中になれる「何か」を見つけよう！ （まだ遅くはない）

「もうあと1ヶ月しかない」と考えるのか、「まだあと1ヶ月もある」と考えるのか？

子供たちには、このカーボベルデの選手たちのように、自分の「大きな夢や目標」を見つけて、過ごしてほしいと思っています。まだ1ヶ月あるのですから。

「今までできなかった○○をできるようになる」、「夏休みの間に、本を○冊読む」、「自由研究で、自分が不思議に思った○○をとことん調べる」、「将来○○になりたい。そのために◇◇をがんばる」

どんなに小さなことでも構いません。自分を信じて、一生懸命に努力を続ければ、それは子供たちにとっての「ワールドカップ」のような輝かしい宝物になることと思います。

「生命を大切に、素晴らしい夏休みを！」

カーボベルデの選手たちの挑戦が私たちに勇気をくれたように、子供たちが何かに一生懸命取り組む姿は、周りのたくさんの人を元気にします。

どうか、「安全」と「健康」には十分に気をつけて、規則正しい生活をお願いします。そして、ひと回りもふた回りも大きく成長した子供たちと、2学期の始業式に、元気な笑顔で再会できることを楽しみにしています。

校長 中田邦明